



勝 150周年 令和6年 本年も どうぞよろしくお願いいたします

令和6年 2024年が始まりました。1874年2月に創立された勝浦小学校が、150周年を迎える年です。これまでの伝統を引き継ぎ、これから始まる新たな歴史をしっかりと踏み出して1年にできるよう、努力していきたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

3学期始業式

始業式では、つぎのような話をしました。

元日に、北陸地方を中心に大きな地震がありました。

地震は突然発生します。このとき、一番大事なことは、どうやって大切な命を守るかと言うことです。この地震が起きた後、すぐにテレビでは緊急ニュースが流されました。

そこでは、繰り返し、繰り返し同じ言葉が放送されていました。「津波が来ます。高いところに逃げること」「命を守ること」この言葉を、強く、強く、繰り返されていました。地震の影響のない地域には必要のない放送ですが、このことできっと命を守れた人がいたと思います。

13年前の東日本大震災の時に、「こうしておけば良かった」と考えたことから創られたこの放送だったそうです。アナウンサーの方にとっては、初めての経験だったのではないかと思います。これでいいのか、不安がいっぱいの中だったのでしょうが、自分がすべきことを、勇気をもって実行されている姿に感心しました。

次に、飛行機の事故が起きたときの話です。映像や写真を見た人もいますが、大きな飛行機が燃えつきるほどの大きな事故でした。このような旅客機の事故で、全員の命を助けることは、とても難しいことだそうです。

今回、どうして乗っていた人が全員逃げ出すことができたのか。その理由は、お客さんが安全に逃げられるように、指示をした乗員の皆さんのとても勇気のあるすばらしい行動と、それを信じて、自分だけでなく、周りの人たち全体のことを考え、言われたとおりに動いたお客さんの行動だったと言われています。

すべての人が、自分勝手にならず、自分のことだけを考えず、周りに気を配ったことで全員が助かったと言われています。

これらのことは、とても残念な出来事だったのですが、私たちが参考にして、これからの考え方や行動に生かすべきことがたくさんありました。「勇気をもって行動すること」、「周りのことを考えて行動すること」をされている人たちの姿を見て、私自身も、自分ができることを考えて行動しようと思いました。

給食感謝週間

1月24日は学校給食記念日です。またこの日から30日までの1週間は全国学校給食週間です。

勝浦小学校では、1月22日から給食への感謝や食の大切さを考えることにしています。

また、本校では、2月6日(火)を弁当の日としています。家庭のご協力をよろしくお願いいたします。

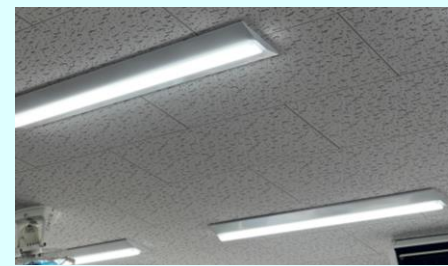


照明器具の更新

年末から工事に取りかかっていた、校舎内の照明工事が終わりました。

学校校舎内、体育館内の照明がすべてLED照明に代わりました。

これまでと同じ器具数ですが、明るさが増し、とても快適に感じました。



主な行事予定

※ 現時点での予定のため、日時・内容の変更を行うことがあります。

1月		2月	
月	曜	月	曜
1	月	1	木
2	火	2	金
3	水	3	土
4	木	4	日
5	金	5	月
6	土	6	火
7	日	7	水
8	月	8	木
9	火	9	金
10	水	10	土
11	木	11	日
12	金	12	月
13	土	13	火
14	日	14	水
15	月	15	木
16	火	16	金
17	水	17	土
18	木	18	日
19	金	19	月
20	土	20	火
21	日	21	水
22	月	22	木
23	火	23	金
24	水	24	土
25	木	25	日
26	金	26	月
27	土	27	火
28	日	28	水
29	月	29	木
30	火		
31	水		

勝浦小学校では、子供の「自己有用感」の育成をめざし、教育活動を行っています。子供の自己有用感を育成するために、以下の内容は、子供の周りの大人にとって、重要な意識の一つだと考えます。是非ご一読ください。

これからの教育について ~自分だけでなく社会全体が幸福な未来~

これまで「自分で課題を見つけ、それを解決する力」を育てるために学校、家庭、地域はどのように関わることが大切なのか、そして子供自身はどのように学びを深めていけば良いかについて、お伝えしてきました。

そもそも、自分で課題を見つけ、それを解決する力を育てる理由は、子供たちが、これから生涯を通じて、精神的にも、社会的にも、身体的にも健康に生活するための根本となる資質・能力となりうるからだと言われています。

この、身体的・精神的・社会的に良い状態にあることを示す「ウェルビーイング(Well-being)」という考え方が、今後の日本の教育では重視されます。

これから先を見据えた日本の教育のあり方を示す「第4次教育振興基本計画」において、この考え方は基本方針の柱の一つとして示されています。この計画でウェルビーイングは、自分自身の目標を立て、その自分の目標に向かって努力すること(すなわち、個人の幸福を求めただけ)ではなく、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態にあることを含めた大きな考え方だと表現されています。

これらの方針を受け、小学校の段階でできるウェルビーイングの学びを創っていくことが必要ですし、大切なこととなっています。そしてさらには、子供一人一人のことを中心に、友達、教職員、家庭、地域など、その一人一人を取り巻く周りが幸福を感じられる良い状態にあることが大切だという考え方を広げていくためには、私たち大人が意を新たにすることが必要なようです。

まずは、学校がどうすべきかを考えていきたいと思っています。勝浦小学校では、これまで行ってきた教育を振り返り、すでにその方針に則って行ってきた良い点をさらに充実させると共に、変化や新たにはじめる必要があることを見出して生きたいと考えています。

3学期は、150年目を迎える次年度を見据えた協議を進めていくこととしています。その過程において、保護者や地域の方々に意見をいただいたり、一緒に考えていただく機会を設けたりすることもあるかと思います。

これまでの「子供のための教育」という考えを広げ、「子供が幸福に過ごす場となる未来の勝浦を創るための教育」を皆さんと共に、考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。